

KEY TOPIC

テーマ「HYBRID」で地域の未来を! 第10回全国VCサミット開催

記念すべき10回目の開催となった全国VCサミット。コロナ禍を経て、4年ぶりの対面ができませんでした。全国から加盟社、中広グループが参加し、成功事例などを共有。この10年を振り返り、新たな道「ハイブリッド広告」の成功を誓い合いました。



VC加盟社と中広グループが「心ひとつに」地域経済を活性化

全国VCサミットは、4年間で様変わりした広告業界の新たな幕開けを感じさせる雰囲気ななか、進行了。冒頭、後藤一俊会長は「みなさん、上機嫌ですか。我々は「一徳一心」、日本中に情報誌を届け、日本を元気にする目的のもと集まった仲間です。時代はDX化しました。紙とウェブを一体化させ、QRコードで広告を科学する『ハイブリッド広告』の時代です」とあいさつ。地元クライアントと読者にとって有益な広告情報で、地域の未来をひらいていこうと熱く締めました。

総合商研株式会社(北海道)による成功事例発表では、行政案件や動画と連動した企画などを紹介。ポップアップストアの運営といった新しい事業展開に注目が集まりました。大島齊社長は、中広グループによるデータ

解析結果の発表、忘年会シーズンへの取り組みなどを共有。最後は「我々はなぜこの仕事をするのか」といった理念を「にっぽんオレンジシンボル運動」を通じて語りました。

改めてC-Brain VC2の機能紹介がなされ、最後はVC事業部長の池戸武志取締役からVCサイトを紹介。サイトの利便性を活用することで新たな仲間を得て、VCは今後もあゆみを続けていきます。

「ハイブリッド広告で地域の未来を!」のテーマで開かれた記念すべき第10回全国VCサミットは、さらに加盟社との絆を深め、新たな時代への挑戦を推し進めるものとなりました。



最優秀表彰賞を獲得したエリア・マークス株式会社佐藤賢二社長(左)と4年ぶりの再会に感謝を述べる大島齊社長(右)



- 表紙部門 / エリア・マークス株式会社(福島県) 月刊すかっと 2023年5月号Vol.85
- 巻頭特集部門 / 有限会社ピース・アソシエイツ(山形県) 月刊あつま〜る 2022年9月号Vol.78
- 地域貢献部門 / 株式会社生活情報新聞社(新潟県) まるごと下越! 2023年2月号Vol.58
- 新設賞 / システム部門 / 株式会社日宣メディックス(茨城県) Couta(クータ) 2023年6月号Vol.220
- 売上部門 65,000部未満 / エリア・マークス株式会社(福島県) 最優秀賞 月刊すかっと 2023年1月号Vol.81
- 売上部門 65,000部以上 / 株式会社バームス企画(宮崎県) 最優秀賞 月刊バームス 2023年1月号vol.374

一徳一心

暑中の情気を一掃し、心・古教を照すべし

花咲けばともに眺めん
実熟せばともに食せん
悲喜分かちともに生きん
(坂本真氏の詩より)

ご報告

神無月朔日、家族が増えました。大阪を中心に関西一円で情報誌を発行する関西ぽど(富岡紀幸代表取締役社長)を中広グループに迎え、ともに歩むことになりました。秋の慶事であります。93名の新たな仲間たちは歴史と経験、そして豊富なノウハウを有しています。我々は『地域みっちゃん生活情報誌』をもって「日本を、地域を元気に」すべく、新たな仲間と「一徳一心」、切磋琢磨する所存であります。この関係を導いてくださった関係各位に御礼申し上げ、深く感謝致します。

文化を提案する広告情報誌は「生きもの」

我々は広告を生業としています。広告とは字の如く「広く知らしめる」こと。では、何のために広く知らしめるのか。クライアントの要請があるからだけではありません。経済を円滑に回し、政治を正しく伝え、人々の暮らしを豊かにするために、広告はあります。

私の持論ですが、文化とは生活様式だと思っています。人々が生活する地域で役立つ、活用され続けているものが文化ではないでしょうか。山には山の民の、海には海の民の知恵と工夫が暮らしの中で生き残ってきた、それが文化です。

広告は、文化を提案します。その提案が暮らしの一部となれば、広告は地域文化を支えるお手伝いができたということになります。社会を健全に回し、その営みに不可欠な役割を果たしているのが、広告なのです。

当社がブランド展開している『地域みっちゃん生活情報誌』は31都道府県133誌・10,929,609部。日本の総世帯数の21%です。情報誌の作り手である仲間(社員スタッフ)の原点は「地域愛」です。情報誌を発行するエリアをこよなく愛する人たちの手によって作られます。その地域で生まれ育ったスタッフも多くいます。

私は、仲間たちに地域の歴史、文化、伝統、風習などを勉強してください、誰よりも知ってくださいと話しています。人は知らないこ

とを知ると、必ず愛情が湧きます。知ること
は変わる。知ることを変える。地域
を知れ、地域に学べと申しています。それが
情報誌づくりの真髄なのです。

作り手がどんな思いで情報誌づくりをしたのか、どんな精神状態で誌面構成を考えたのか、地域の住民である読者には、つぶさに伝わります。手を抜けば広告の反応は下がり、QRコードの使用度は落ちます。逆に、想いを込めてしっかり作り上げれば、反響は驚くほどに上がります。情報誌は「生きもの」であるという証だと思っています。



ふと見上げれば雲間にかかる山城の月

螺旋的発展の法則 ハイブリッド広告

紙のメディアは時代遅れだ。もう紙の時代じゃない。広告業界でよく言われる言葉です。新聞・ラジオ・雑誌・テレビの4マス媒体合算の広告収入額よりもインターネット広告収入の方が多くなりました。人流を避け、人との交流をリモートやオンラインで済まし、新聞も雑誌もネットで読めば良い時代です。

そんな中、我々は愚直に、本当に愚直に、地域の生活情報を足で拾い集め、編集し印刷して、決めたエリアに一軒一軒手配りでお届けしています。私は我々の情報誌を「紙のフリーメディア」と呼んでいます。ちなみに誤解がないように言いますと、フリーペーパーとは正確にはフリーニュースペーパー。欧米ではフリー(無料)の新聞のことです。

ネットの時代であっても、広告の本質は何か変わっていないという信念が、私にはあります。そして、『地域みっちゃん生活情報誌』は螺旋階段的に発展させるべきであると考えています。

弁証法に「螺旋的発展の法則」があります。世の中の全ての物事や発展は、右肩が上がるように一直線に進歩・発展するのではない。あたかも螺旋階段を登るように進歩、発展していくという法則です。

たとえば、手紙が電話に、電話がメールになり、メールがSNSになっても知らせたい内容は変わりません。伝達手段は進歩していますが、伝える中身は今も昔も変わりません。エスカレーターのように直線的に上昇しているのではなく、同じところをぐるぐると回りながら進んでいるのです。

情報が限られるという紙のメディアに弱点があるならば、ネット広告には情報が届きにくいという欠点があります。これは限定的な商いをする事業者にとって、広告を届けたい人に、目標を定めた広告内容が届かないという短所です。要は、肝心の訴求対象が合致しないのです。

ネット広告の欠点を補うべく、『地域みっちゃん生活情報誌』は誌面にQRコードを掲載するという紙とネットの融合を生み出しました。この独自の手法が「ハイブリッド広告」です。掲載されたQRコードから数値を把握、専門的な分析により曖昧だった広告効果を測定することができます。それらを称して私は「広告を科学する」と申しています。

温故知新、古いものを突き詰めれば新しいモノに辿り着きます。「ハイブリッド広告」は我々が「一徳一心」愚直に地域を見つめ、人の幸せとは、地域の元気とは何か、情報誌を通して追い求めてきたことで導き出された新しい手法であり、「広告で未来を拓く」武器になると信じています。

長い長い夏がようやく終わり、私の大好きな秋がやってきました。すすきの穂を立て、新餅米で丸めた芋団子を三方に置き、虫の音響きに耳を傾ける。ちよびりひなた胡瓜の白漬けを肴に、ぬるめの燗酒をひとちびり。開いた書を伏せ、ふと見上げれば、雲間にかかる山城の月。

終わりに安岡正篤の新秋清書を書き留めます。

一、新秋なり。暑中の情気を一掃し、颯爽として清健の気を振起すべし。

一、読書の好季なり。早暁・深夜、古教・心を照し、心・古教を照すべし。

※一徳一心…目的を同じくする者(同志)が、心をひとつにして徳を積むこと
2023・神無月・朔日、新たに同志を得て、二代目・如水こと後藤賢次

2023
10/13(金)
全国一斉
劇場公開

映画『女子大小路の名探偵』

映画『女子大小路の名探偵』は企画/中広によるメ〜テレ60周年作品です。

10,929,609部

※情報は2023年9月発行号に基づき掲載しています ※VC発行エリアを含む ※世帯到達率は配布部数を9月22日現在の各県が公表している世帯数で割り算し一部イレギュラーな発行に伴い10月に流通していないものを含む ※発行日は月により変動する可能性があります。詳細はお問い合わせください。

Table of magazine circulation data for Hokkaido, Aomori, Iwate, Miyagi, Fukushima, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Saitama, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Shizuoka, Aichi, Gifu, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

Table of magazine circulation data for Nagasaki, Saga, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, and various regional magazines like SaruBobo, Gujo, Maika, Kanisanclub, Gifuto, Mintcup, Wao!Club, Mydo, KiramekiClub, Sanriki, Piril, Parupi, Taitai, Naniwa.

Table of magazine circulation data for Nagano, Yamanashi, Gifu, Shizuoka, Aichi, Gifu, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

Table of magazine circulation data for Aichi, Gifu, Shizuoka, Aichi, Gifu, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

Table of magazine circulation data for Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

Table of magazine circulation data for Nara, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima.

読者の声 (Reader's Voice) section featuring a testimonial from a 20-year-old reader about enjoying the magazine's content and the convenience of the app.

掲載レスポンス (Publication Response) section featuring a testimonial from a 60-year-old reader about the magazine's subscription service and the app's features.

情報誌見積サイト (Information Magazine Estimation Site) section with a QR code and text explaining how to request a quote for advertising in the magazine.

フリーマガジンと連動して地元へアピール (Free Magazine and Local Appeal) section with a QR code and text about linking the magazine to local businesses via the app.

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

家族を守るため、ちいさな工夫でサギボウシ

群馬県プロポーザル「特殊詐欺防止対策装置の普及業務」を受注しました。チラシ・情報誌誌面・ウェブサイトなどによるキャンペーン告知、装置の配達手配、県内全域へのチラシ仕分けなど、業務コンテンツは多岐にわたります。この案件は2年連続で受注。昨年ベーステーマを「桃太郎での～

いざ、サギ退治～」、今年は「一寸法師での～サギボウシ～」としました。とくに特殊詐欺にあいやすい高齢の親、そして祖父母がいる子・孫への訴求に重点を置き、誰もが知る親しみやすい昔話をベースとしています。今回のタイトル「サギボウシ」には「サギ」の部分に「一寸」の文字を忍ばせ、「一寸(ちよっと)の工夫で詐欺被害は防げる!」という意味を込めています。また、昨年の配達手配や問い合わせ電話対応に対しノンクレームだったこと、キープコンセプトでの企画提案だったことも受注に繋がった大きな要因と言えます。私たちはこれからも、社会問題の解決や地域貢献の一助になるような企画を積極的に提案していきます。(前橋フリモ編集室・神尾、伊藤)



誌面と連動したYouTubeコンテンツを制作

クライアントが発行する情報誌の企画・制作業務をコンペにて受注いたしました。紙からウェブに移行させたいという先方の要望があり、紙を入口にウェブで深く楽しめる仕掛けとして従来の人気コンテンツをYouTube動画と連動させる案を提出。見事、採用いただきました。

これまでは誌面上で街の店舗を紹介していましたが、社員が登場し、散策しながら街の魅力と店舗を体験・紹介する動画を制作。誌面には街ぶら記事を掲載し、さらに詳しい情報は誌面内QRコードからウェブサイトへと誘導。YouTube動画で続きを楽しめる仕組みです。受注後は、クライアントと動画制作会社と当社の3社で打ち合わせし、コンセプト・方向性を決めた後、タイアップ先の交渉や構成案の作成、演者の撮影日程調整などを行います。撮影後は、編集後の動画やサムネイルの確認、クライアントからの要望や修正対応など工数が多いため、スケジュール管理がとても大切になります。当社では、スムーズな動画制作進行が可能です。(名古屋AP・水野)



読者のマイホームづくりへの道をプッシュ

新築を建てる際の流れを施主と工務店のやり取りから体験してもらうことで、「マイホームを建てる時の、子育て世代の不安を解消してあげたい!」という編集室の思いと「もっと子育て世代に工務店の家づくりを知ってほしい」というクライアントの思いが一致。これまで新聞折込を主流としてきた工務店ですが、「一緒にマイホームを作っていこう!」という趣旨で記事広告を掲載しています。

工務店の雰囲気に合わせたテイストで、誌面からも担当者の人柄や会社の様子が伝わります。施主に出演していただくことで、新築を検討している読者の選択肢の1つとなっています。2回目の誌面は「間取り」を中心に取り上げました。すると、「こんな間取りにリフォームをしてほしい」と、2,500万円規模の依頼が入ったと連絡がありました。多額の金銭が動く家づくり。決定までにも長い時間を要します。複数回掲載していくことで、読者の記憶にも残り関心も高まると期待しています。引き続き、よい提案ができるよう、クライアントに寄り添って仕事をしていきます。(つばさ編集室・森田)



さまざまなツールで里親制度を啓発

この度、愛知県より「里親制度」について、多くの県民に知っていただくための、さまざまなツール制作を受注しました。「聞いたことはある」という人が多い「里親」ですが、詳細をもっと身近に知ってもらおうとポスター、のぼり、スタッフベスト、配布用ウェットティッシュなどのツールを使って啓発する事業です。ほかにウェブツールとしてInstagramでの発信を、里親月間である10月からスタートします。

特に、さまざまな事情で家族と離れて暮らす0～18歳の子どもを一定期間、自分の家庭で養育する「養育里親」の啓発に力を入れ、キャッチコピーには「私でもなれるかな 養育里親」と題し、少しでも自分に身近な制度だととらえてもらえるよう、工夫しています。また里親を支えるさまざまなサポート制度をポスター紙面で紹介。深刻に捉えがちな「里親」に対して安心感をもってもらえるように構成しています。多様な形態がある里親制度を広く知ってもらい、子どもたちの幸せと、この国の将来を支える人の創出に貢献できれば幸いです。(名古屋SP・三宅)



中広グループに関西ぱどが加わりました

10月1日、株式会社関西ぱどが中広グループの一員に加わり、私たちは家族となりました。まずは家族となってくれた関西ぱどの皆様へ心より感謝申し上げます。

関西ぱどは、関西地区での『ぱど』発行事業のエリア本部として事業の拡大を進めるだけではなく、時代の変遷に合わせてウェブメディアやITツール、イベント等を通じた課題解決の提案事業を行っています。私たちはこれまでグループで培ってきたノウハウを余すことなく関西ぱどとも共有し、「地域から日本を元気にする!」という同じ志をもつ家族として、一体となって事業に励んでまいります。

(管理本部・後藤)

映画『女子大小路の名探偵』10月13日より全国公開!!

地域みっちゃく生活情報誌『GiFUTO』、「たんどんくらぶ」、『NAGOYA FURIMO』の誌面で連載した小説『女子大小路の名探偵』。小説として刊行(河出書房新社)され好評をいただいた本作品が、満を持してスクリーンに登場!連載、小説と変わらず、舞台は名古屋・岐阜。美桜役の剛力彩芽さん、大夏役の醍醐虎汰朗さんなどのキャストが、地元の人なら行ったことがある、見たことがある場所に登場。脚本は原作の秦建日子さん。情報誌連載時から名古屋や岐阜での取材を重ね、地元の雰囲気を生かしたエンタメサスペンスとして、他にはない作品に仕上げられました。「地方をエンタメで元気に!」する本作品。お近くの劇場へぜひ、足を運んで楽しんでください。(事業開発室・佐藤)



にっぽん中をオレンジ色に染め上げる!



▲オレンジ色に染まった名古屋市の中部電力MIRAI TOWER

当社は児童虐待防止運動に取り組んでいます。今年5月、中部電力MIRAI TOWER(名古屋市)が児童虐待防止のシンボルカラー・オレンジに染まりました。これは名古屋市の児童虐待防止推進月間にあわせたもので、街ゆく多くの人が写真に収め、児童虐待防止について考えるきっかけとなりました。そして11月は国が定める児童虐待防止推進月間です。中広グループとVC各社では日本中の地域のシンボルをオレンジ色にライトアップする「にっぽんオレンジシンボル運動」を実施します。9月25日時点で協力は全国で68カ所。「児童虐待に苦しむ人が一人もいない日本へ」。この思いに全霊をかけ取り組んでまいります。(クオリティマネジメント室・遠藤)

『伊勢崎フリモ』『太田フリモ』『桐生みどりフリモ』の3編集室では、毎年8月第1日曜日に開催されている「いせさき花火大会」の翌日に伊勢崎市が主催している清掃活動に参加しています。今年は8月6日に開催され、夜空を大輪の花が彩りました。翌7日には清掃活動に参加。祭りの直後ということもあり、会場の伊勢崎西部公園には多数のゴミが散乱していましたが、ほとんどゴミの落ちていない状態になるまで、きれいにすることができました。午前中から30℃を超える猛暑日でしたが、暑さを忘れるほどに集中して美化活動を行えました。これからも地域に貢献できる活動に力を注いでいきます。(伊勢崎・太田・桐生みどりフリモ編集室・松下)



8月29日・30日の2日間、南山高等学校女子部1年生2名のインターンシップを受け入れました。2019年より継続しているもので、今回も『NAGOYA FURIMO中央版』誌面内の取材記事を制作。高校生の目線で地域の「気になるお店」をピックアップし、アポ取りから取材、記事編集までを編集室、クリエイティブと共に制作。実際に店舗に訪問した際、始めは緊張の面持ちだった生徒たちでしたが徐々に緊張もほぐれ、質問や撮影まで誌面に必要な素材を考えながら無事原稿を完成させ、インターンシップを終えることができました。

(NAGOYA FURIMO 中央版編集室・澁谷)



グループ戦略統括事業部 人財開発室



▲人財開発室スタッフ

社は「人が命、人が宝、人が財産」に基づき「人財」に関わる取り組みをしています。主な業務は、採用サポート、社内研修、営業支援などです。また行政関連から依頼をいただき、広告営業・編集制作の講義に出向く回数も増えています。

採用サポートは総務人事部と連携して、インターンシップや新入社員・新規採用者研修を実施。社内研修は、課題解決に繋がる研修プランを階級別・職種別で実施し、個人のスキルUPに繋がります。営業支援は、各拠点の営業同行や情報誌づくり・原稿作成の個別フォローも行います。現場の目線を忘れず、各従業員が活躍できる環境と営業実績を上げるために努めています。

人を生かし人に生かされ、人の力を信じ、人の心を育むことのできる人財育成を目指し、会社の業績だけでなく、従業員の人間力を高めることが重要と考えています。人財を資本として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上に繋がられるよう、まい進いたします。

(人財開発室・伊藤)

編集後記

「仕事も、乾杯も、なにもできない、苦しい期間でしたー」コロナの影響で4年ぶりのリアル開催となった、『地域みっちゃく生活情報誌』の第10回全国VCサミット。コロナ禍、オンラインでの開催が続いていただけに、VC事業部担当役員からの挨拶に胸が熱くなりました。仲間たちの健闘を称える表彰に成功事例の共有。やはりガジェット越しとは違う熱気があります。DXの推進を掲げ、デジタルマーケティングに力を入れたこの数年。広告の反響を数値化し、「広告を科学」することと真摯に向き合ってきました。こうした地道な積み上げが進んだ半面、やっぱり寂しかった!リアルで、マスクなしで笑い合える、仲間の存在を感じられる会でした。また、その裏で「うがい薬も用意しなさい」と客人に配慮される後藤会長の姿に、華々しい舞台を無事に終えるためのホスピタリティを学びました。

(広報・PR室 岡本)

リニューアルでクオリティアップし広告掲載のきっかけに!

2023年9月号(vol.89)から、タブロイドサイズにリニューアルいたしました。リニューアル時に実感したのは、表紙(1面)デザインの難しさ。誌面サイズの関係から二つ折りで配布するため、読者が手に取ったときに美しいと感じられ、きちんと情報伝達されている二つ折りの表面のデザインについて、さらに研究・工夫していきたいと考えております。9月号では地元のブラ

ンド芋「ミエルスweet」の魅力を紹介し、焼き立ての芋の湯気まで感じられるような写真を掲載しています。リニューアル誌面をご覧になったクライアントからは、「これならまた広告を掲載してもらいたいね」とうれしいお言葉が。引き続き、地域の読者に役立つ情報を届けてまいります。



▲2023年9月号表紙



全国に広がるVC加盟の輪

『地域みっちゃく生活情報誌』VCの魅力語る



VC加盟の魅力は、何といっても情報誌事業の始めやすさです。『地域みっちゃく生活情報誌』の発行コンセプトや志に賛同いただければ、情報誌発行の経験がない会社も、安心してローコストでスタートを切ることができます。また、すでに発行中の場合も加盟によってさまざまな課題解決が期待できます。

45年で積み上げたノウハウを完全パッケージでVC社に提供

VC(ボランティア・チェーン)加盟社には、情報誌の営業・編集ノウハウ、発行ノウハウのすべてを提供しています。営業ツールの準備・研修や制作ツールなど、創刊まで万全のフォロー体制を組んでいます。創刊後には、現地リモートでのフォローアップ会議を実施し、個々のお悩み・問題解決に中広と一緒に取り組んでいきます。

加盟による創刊後のメリットは多くあります。大きくは、「売上に伸び悩んでいる」、「人材が育っていない」、「競合誌に押され気味である」など喫緊の課題解決です。中広が45年をかけて培った成功・失敗例から状況に合わせて解決方法をお伝えできます。

また「フリモ」アプリの活用が可能です。自社でのアプリ開発には多くのコストと時間を要しますが、「ご近所にアプリで広告する」、つまりウェブコンテンツとのハイブリッド広告の展開が可能になります。本部とのやり取りは、独自のシステム「C-Brain VC2」を活用。システムを使った原稿作成ができ、クライアントとの広告申込、校正のやり取りを、訪問することなくウェブ上で行えるようになります(※)。また見積もりサイト「HAPPY MEDIA GUIDE」では全国の「地域みっちゃく生活情報誌」の見積を取ることであります。姉妹誌同士の広告申込みにより、一気に販路を拡げられ、さらに全国の情報誌掲載で大型企画の実施が可能です。

VCと中広グループが一体となって大型企画で誌面価値をさらに向上

当社が企画した11月号の「忘年祭」キャンペーンは、10月13日(金)に全国公開を迎える映画「女子大小路の名探偵」との誌面コラボです。有名俳優を起用したこのプロモーションにVC加盟誌も参加。「忘年祭」を共に成功に導き、VCの仲間と、それぞれの地域の飲食店を盛り上げていきたいと考えます。また、11月は児童虐待防止推進月間にちなみ、全国のシンボルをイメージカラーのオレンジに染める「にっぽんオレンジシンボル運動」を展開。児童相談所虐待対応ダイヤル「189」番の認知度を上げるべく、一体となって活動しています。そして毎年開催している「全国VCサミット」は、全国からVCの仲間が一堂に会する機会です。今年で第10回となりました。第1回のVCサミットで我々は、加盟社とともに「VC宣言」をしました。「地域の活性化・地域コミュニティの構築のため、どんな時も笑顔を忘れず、前向きに行動すること」「毎日が感動探し、毎号がリニューアルを合言葉に、1ページごとに心を込めて情報誌を発行すること」「これら

『地域みっちゃく生活情報誌』の社会的意義と方針に添い、中広と志をともに、『地元』にこだわり、地域に根を張る媒体事業の成熟を目指すこと」です。この10年で情報誌を取り巻く状況は変化し、発行形態なども多様化しています。しかしこの考えは今も全く変わりません。VC加盟社のみなさんが情報誌を発行し続けてくださることに、深く感謝しています。

全国に同じ志の仲間がいることがVC加盟の一番の強みではないでしょうか。

8月には「地域みっちゃく生活情報誌」ボランティア・チェーン専用サイトを開設しました。サイト内では、加盟についての詳細や加盟社の声も紹介していますので、一度サイトをのぞいてみてください。

(※)一部機能は加盟料と別途利用料が必要



現地でのシステム(C-Brain VC2)サポート

開設！VC専用サイトはこちら！

Top Interview >>> VCに加盟して

エリア・マークス株式会社 『月刊すかっと』『月刊こみっと』



代表取締役 佐藤 賢二様

10月号で「すかっと」は通算90号、「こみっと」は12号を発行。この間、県内で発行されるフリーペーパー媒体の大多数は売上減によるページ縮小や部数減など、軒並み苦戦を強いられています。「こみっと」創刊前は社員から時期および営業体制への不安の声が出ましたが、コロナ後の経済活動を見据えたタイミングで発行したいという思いを理解いただき決断。1年が経ち、エリア内の皆様からは感謝と期待の声が多く寄せられています。VC加盟の魅力は何と言っても他誌の情報収集と掲載事例や成功事例等の共有、あとは全国展開する企業等の広告がVC全誌に掲載されることを願っています。



株議会プロバト 『月刊マルータ』



代表取締役 楠田 寛様

現在は若干、内容が変わりましたが、行動指針と予算達成への具体的な営業施策の提示が『マルータ』創刊の決め手でした。情報誌の「生死を分かつのは営業」であり、大先輩各誌の30年以上におよぶ実績・ノウハウは至宝です。「うまくいかなければ基本を外れているとき」。苦し紛れであれこれやって取捨がつかなくなったとき、何度この言葉に救われたことか。そのおかげで、素人から始まった私たちが情報誌一本で会社を回せるようになりました。そして今ではC-BrainVC2の校正機能まで利用中です。絶大なスピード感と端正な誌面づくりは、自前では絶対に実現できない、VCならではの利点です。



株式会社アートアベニュー 『宮古ストーリー』



代表取締役 藤澤 雅義様

2016年7月から宮古島市を拠点に宿泊・飲食・情報誌発行事業等を行っております。島の住民向け情報発信媒体がなくなってしまうと、姉妹誌の企画・営業情報など、情報の充実度、原稿制作システムを使って制作する誌面はきれいで読みやすいと好評です。編集記事と広告のバランスが良いとお褒めいただく機会も増えてきました。



会社概要	商号 株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.) 東証・名証 証券コード【2139】	
	創業 1978年 資本金 4億430万円 従業員 430名 グループ全体 548名 (2023年9月末現在)	
事業内容	フリーマガジン事業 セールスプロモーション事業 クロスメディア事業	イベント・セミナー事業 通信販売事業 VC事業(ボランティア・チェーン)
理念	広告業を通して「地域社会への貢献」 (地方創生に!)	
社是	人が命・人が宝・人が財産 (社員が輝く組織に!) 機会損失の排除 (モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)	
社訓	飲水不忘掘井人 (感謝の心で!)	
グループ会社	株式会社中広メディアソリューションズ 株式会社ケイ・クリエイト 株式会社ケイビーエス 株式会社 関西ぼと	https://chuco-ms.co.jp http://www.k-create.co.jp http://www.post-kps.co.jp https://www.kansaipado.co.jp

第46期 基本方針	スローガン ABCX	テーマ 不易流行
-----------	------------	----------

オフィシャル運営サイト	●中広企業サイト ●中広採用サイト ●フリモ(WEB) ●講演会インフォ ●わくわく生活(楽天)他 ●フリモール ●フリモールブログ ●暇飯blog ●HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見様サイト) ●ハッピーメディア®児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク(JLMN)	
公式アカウント	●Facebook ●YouTube ●Instagram ●X(旧Twitter)	リンク集はこちら
加盟団体	●JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会	



次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定企業です

女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定企業です

2017年取得

2016年取得

営業拠点

<p>■ 本社 岐阜本社 岐阜市東興町27 名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F</p> <p>■ FM・SP事業部</p> <p>《北海道》 SORA編集部 旭川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6169 旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-6158</p> <p>《宮城県》 とみず!編集部 仙台市泉区泉中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809 なうてい!編集部 名取市手倉田字諏訪532-1 1F TEL.022-797-8541 さきっ!編集部 大崎市古川旭5-3-2 2F TEL.0229-25-8792</p> <p>《群馬県》 高崎フリモ 前橋フリモ編集部 高崎市新保町139-1 2F 【高崎フリモ】TEL.027-353-8714 【前橋フリモ】TEL.027-353-8711</p> <p>伊勢崎フリモ 太田フリモ編集部 伊勢崎市戎呂町2-3522-6 TEL.0270-61-6117</p> <p>桐生みどりフリモ編集部 桐生市本町6-27-1 3F TEL.0277-47-7635</p>	<p>《福井県》 ほろんくらぶ編集部 敦賀市野沖40-277-2 1F TEL.0770-24-2622</p> <p>《岐阜県》 GIFUTO編集部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512</p> <p>SARUBOBO編集部 高山市下岡本町2967-2 TEL.057-34-5579</p> <p>WaoClub・mintoup はしまる編集部 大垣市加賀野4-1-13 【Wao】TEL.0584-75-1960 【mintoup】TEL.0584-77-4088 【はしまる】TEL.0584-71-6226</p> <p>GUJOプラス編集部 郡上市八幡町小野91-1 TEL.0575-67-0655</p> <p>たんどんくらぶ編集部 各務原市那加栄町14-1 TEL.058-380-6066</p> <p>きららくらぶ編集部 関市山王通1-6-3 TEL.0575-24-4334</p> <p>かにさんくらぶ編集部 可児市今渡字野1595-190 TEL.0574-25-7009</p> <p>おひべくらぶ編集部 多治見市太平町4-38 TEL.0572-21-2626</p> <p>らせるくらぶ編集部 土岐市泉西山町1-4 3F TEL.0572-55-2033</p> <p>maika club編集部 中津川市津川字上金1231-1 TEL.0573-62-2522</p> <p>官公庁営業部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p> <p>岐阜SP部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p>	<p>ES部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-248-5611</p> <p>EC部 大垣市加賀野4-1-13 TEL.0584-74-0745</p> <p>《愛知県》 NAGOYA FURIMO 各編集部 【中村・中川・港区版】 名古屋市中川区柳森町107 2F TEL.052-355-6111 【中央・西区・北区・名東・天白・南区版】 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-433-1602</p> <p>緑区フリモ・北知多フリモ編集部 名古屋市長区六田1-150 2F TEL.052-829-0270</p> <p>守山フリモ アサヒセット・ひまわりくらぶ編集部 尾張旭市東本郷4-原町3-53 2F 【守山フリモ】TEL.0561-42-5799 【アサヒセット】TEL.0561-42-6981 【ひまわりくらぶ】TEL.0561-42-6971</p> <p>ゆいまるくらぶ・さんごくらぶ かなうくらぶ編集部 愛知郡東郷町北山台4-1-6 【ゆいまるくらぶ】TEL.0561-42-4850 【さんごくらぶ】TEL.0561-42-4885 【かなうくらぶ】TEL.0561-42-4855</p> <p>Cocon club・ちるくらぶ 安城フリモ編集部 知多郡東浦町大字緒川字下汐田17-1 TEL.0562-85-1077</p> <p>リパル倶楽部編集部 大山市松本町2-29 TEL.0568-39-6111</p> <p>岡崎フリモ・西尾フリモ編集部 岡崎市明大寺町字寺東9-1 5F TEL.0564-83-7121</p> <p>名古屋SP部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-571-2139</p>	<p>湖南フリモ編集部 栗東市手原5-6-19 TEL.077-596-3335</p> <p>びわこ編集部 関西SP部 大津市浜大津2-1-35 6F TEL.077-521-3911</p> <p>よっかいちai編集部 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562</p> <p>つっぴ〜ず編集部 津市栄町1-840 5F TEL.059-213-7666</p> <p>リー・クラフ編集部 名張市鴻之台3番町36-1 TEL.0595-41-0156</p> <p>ふぁみんくらぶ編集部 松阪市東町596 3号棟 1-A TEL.0598-31-3623</p> <p>イセクラブ編集部 伊勢市岩洲3-6-5 2F TEL.0596-63-8282</p> <p>からっと倶楽部編集部 尾鷲市坂西町2-34 2F TEL.0857-37-4100</p> <p>さみっとくらぶ編集部 志摩市阿児町鶴方2850-126 D号室 TEL.0599-65-7201</p> <p>三重SP部 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562</p> <p>《滋賀県》 ぼてじゃこ倶楽部編集部 長浜市宮司町1161-7 2F TEL.0749-68-2577</p> <p>おウテイクラブ・甲賀フリモ編集部 近江八幡市坂宮町289 3F TEL.0748-36-1148</p>	<p>岐阜市東興町27 4F TEL.058-214-3325</p> <p>■ グループ戦略統括事業部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-562-2139</p> <p>■ 管理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 【購買流通課】TEL.058-246-0285</p> <p>■ グループ会社 株式会社関西ぼと 本社 大阪市西区羽本町1-10-24 5F TEL.06-6479-3113 北大阪支社 寝屋川市大利町10-10 1F TEL.072-827-0817 東大阪営業部 東大阪市下小阪2-14-16 3F TEL.06-6729-8101</p> <p>株式会社中広メディアソリューションズ 横浜支局 横浜市中区真砂町3-38 5F TEL.045-225-9267</p> <p>埼玉支局 さいたま市南区南浦和2-39-16 3F TEL.048-767-8238</p> <p>仙台支局 仙台市若林区新寺1-2-26 5F TEL.022-792-8101</p> <p>株式会社ケイ・クリエイト 本社 一宮市木曾川町里小牧寺125 TEL.0586-86-0608</p> <p>東尾張支社 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8331</p> <p>株式会社ケイビーエス 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8336</p>
--	---	--	--	---

※従業員数はグループ会社含む ●…地域みっちゃく生活情報誌®